



岡山大学

マッチングプログラムコース 2010

Build up your character!





MPコースって？

マッチングプログラムコース（MPコース）は、幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育ててきた生徒を受け入れ、先進科学分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成するため、岡山大学における戦略的構想の下に生まれた新しい教育コースです。様々な分野に興味を持ち、意欲のある生徒を育てるためには、入学時や修学時に起こるミスマッチを解消し、目的指向力を高めることが何よりも重要です。学生が担任やアカデミック・アドバイザーの指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図ることにより、学生の目的指向力を高め、国際社会で役立つ英語や課題探求型授業などの、先進的教育プログラムを実践しています。卒業研究も、学生各自の目標・目的に合った学部・学科（理学部、農学部、教育学部など）を選び、これらの学部教員の指導のもとで行うことができます。

MPコースで学ぶことにより、現代社会で求められている応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を培うことができます。特色ある授業内容と整った学習環境の中で、物事を一方から見のではなく、多方面から考え、新たな発見をする感性を養うことができます。進路としては、それぞれの専門領域に関連した分野、すなわち研究、教育、スポーツ関連、生涯教育、福祉・介護、国際関係、情報関連などが考えられます。また、卒業研究に関連した岡山大学の大学院はもちろん、外国を含めた大学の大学院への進学道も大きく開かれています。

MPコースでは、一人ひとりの興味関心に応じた将来設計を行う教育プログラムを自ら組み立てられることが大きな特徴です。

自分で選べるからがんばれる。 未来につながるからがんばれる。

2006年4月にスタートしたマッチングプログラムコース(MPコース)は、今年4月、元気で个性的な16名の第4期生を迎えました。MPコースの名称は、高校—大学—社会の間のより効果的なマッチングをめざしてつけられました。MPコースは、幅広い興味を持ち、自分で考える力を育ててきた生徒を受け入れ、一人ひとりの個性、能力を一層伸ばすことを目指しています。

コースの一番の特徴は、アカデミック・アドバイザーと呼ばれる教員の助言を受けながら、学生が自分に最も適した履修プログラムを学部・学科の枠を超えて作れることです。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ違います。同じ授業時間割で学んでいる者はいません。MPコースで学ぶことにより、広い視野に立った専門性とともな独立心を身につけることができます。こうした能力は、激しく変化する現代社会において、卒業後、一生を通じて役立つはずで

第1期生(現4年生)は、各自の希望に応じて農学部、教育学部、工学部、理学部などの学部において課題研究(卒業研究)を行っています。企業への就職を希望する学生は、この不況下でありながら、就職活動を非常に有利に進め、5月初めには全員が内定を得ています。これは、MPコースで培ったコミュニケーション力やチャレンジ精神、さらには創造性などが高く評価されたためと思われます。一方、卒業後は大学院への進学を希望している学生も多数います。

好奇心にあふれた人、じっくり考えるのが好きな人、他の人と少し違うことがしてみたい人、色々な分野に興味があり志望分野を決めかねている人は、ぜひ、MPコースの入学試験に挑戦してください。MPコースの入試は、単に知識をもっているかを問うのではなく、知識を活かすことができる「知恵」をもっているか、MPコースの目指す教育を受ける能力・資質をもっているかをみます。ある受験生は、試験後のアンケートで「私の人生の中で最もハードで、最も楽しい試験になった。合格でも不合格でも、今回の試験はいい思い出になると思う」と書いています。

岡山大学 マッチングプログラムコース
教育部長

小島 正明



CONTENTS

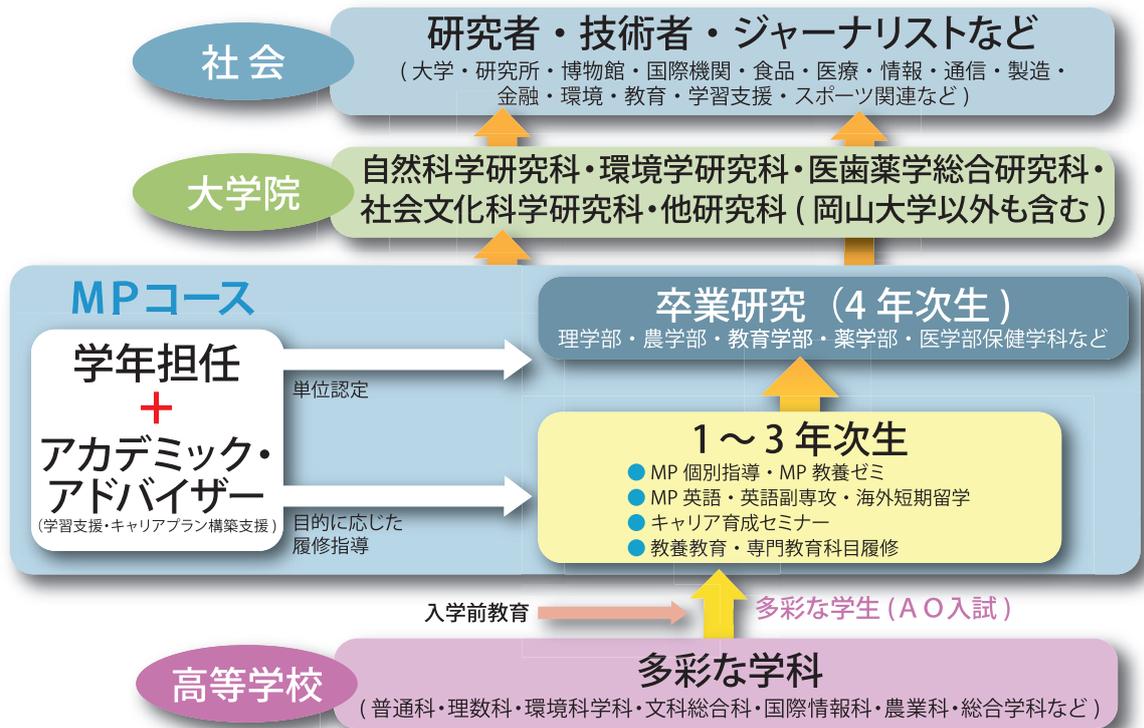
MPの特色 / MP独自の授業	2
キャンパスライフ	3-5
アカデミック・アドバイザー制度 / 副専攻	6
語学研修 in アデレード	7
入試概要	8
就職活動	9

マッチングプログラムコースの特色

- ① 目標に応じた独自の学部横断型カリキュラム
- ② アカデミック・アドバイザーによる効果的な履修指導
- ③ 目的に応じた学部・学科での卒業研究
- ④ 実践的な訓練を通じて、英語力・専門能力向上

MPコースの学生は、アカデミック・アドバイザーの助言を受けながら文理の枠を超え、自分に最も適した履修プログラムを作ります。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ違い、誰一人として同じ授業時間割で学んでいる学生はいません。

通常の学部・学科に属する学生が選択科目を除いてクラス全員で同じ授業を履修するのは際立った違いがあります。



MP 独自の授業

○ MP 英語

“使える英語”が学べる授業。ネイティブにも通用する発音を学べる授業や、日常やビジネスシーンでの文章を読む力をつける授業があります。少人数制の特色を活かしたきめの細かい指導が受けられます。

○ MP 教養ゼミ

様々な学部の先生や、時には他大学の先生方を招き、文理問わない講義をしてもらいます。文系、理系に偏らない柔軟な発想を養うことができます。また、課題に対して、自分で調べ、プレゼンテーションする時間もあり、社会に出たとき必要となるコミュニケーション力なども身につけることができます。

○ キャリア育成セミナー

自分のキャリア（将来こうなりたい）を考えていくセミナーです。無限の可能性のあるMPだからこそ、将来やりたいことがなかなか決まりません。そこで、自分の興味ある分野や、性格などをもう一度見直し、本当に自分のやりたいことを発見したり、その夢を実現するためにどうすればよいのかを考えていきます。また、実際に社会の中で活躍されている方々に講演をしてもらい、「社会とはどういうものか?」、「学生時代どう過ごせばよいか?」などのお話を聞くことができます。



キャンパスライフ

1年生 吉田早紀 三重県立松阪高校卒業



私は環境問題について知り、自分に何ができるのかを考えていきたいと思っています。特に関心がある微生物の働きは様々な分野に渡っています。農学（土壌や食品）、薬学、化学、環境関連など多分野に広がって一つに絞れません。そこで、MPコースならではの学部の枠を超えた独自の履修制度を生かし1年次の時間割に環境理工学部と農学部と理学部の授業を入れました。2年次からは、薬学部の授業や、生物、化学の基礎実験も受講するつもりです。実際に講義を受けていくうちに、どの分野から微生物を考えていくのがいいかを見つけ、おもしろいと感じたところを専門的に学びたいと思います。

MPコースには他の学部と違うところがいくつもあり、今回初めて時間割を作成するに当たって、どうしたらいいか悩んだり、困ることもありました。しかし、MPコースの先輩やアカデミック・アドバイザーの方に相談することで、納得いく時間割を作ることができました。また、文理の壁がなく、幅広く学んでいるクラスメイトと意見交換することは、私にとってとても刺激になります。ユニークな履修システムを持つMPコースだからこそ、広い視野を持ち、他の人とは違った見方ができるようになれると思います。

	mon	tue	wed	thu	fri
1	自尊感情の心理学 (教養教育)	農業資源学 (農学部)	健康・スポーツ科学 (教養教育)	生活の中の微生物 (教養教育)	フランス語初級Ⅰ(読本) (教養教育)
2	英語(MPコース1) (MPコース)	自然科学入門 (MPコース)	英語(MPコース2) (MPコース)		MP個別指導 (MPコース)
3	環境と生物 (環境理工学部)	フランス語初級Ⅰ(文法) (教養教育)	基礎英語 (教養教育)		
4				スポーツ実習 (教養教育)	分子生物学Ⅰ (理学部)
5			MP教養ゼミ(自然科学) (MPコース)		

2年生 山口翔平 岡山一宮高校卒業



僕は化学を専門に勉強し、将来は研究職に就くことを目指しています。研究者といっても、化学しかできない、興味が無い、といった研究者ではなく、数学や物理、自然にも興味を持った研究者になりたいと思っています。そのために、1年次は理学部の授業を中心として工学部、環境理工学部の物理学実験や数学の授業を受けに行きました。今期は理学部主体の時間割ですが、3年次にはより専門性を深めつつ、生物や数学の授業を受けようと思っています。そして、4年次の研究室への配属では他学部生とは違う何かを持っていようと努力しています。

僕たちは、他の学部の学生とは違い、時間割を自分たちで作っていきます。僕は自分がこの授業をとって何ができるのか、何がしたいのか、と考えながらこの時間割を作っています。もちろん、楽に完成するものでもなく、悩むことがたくさんあります。しかし、こうして悩んで選んだ授業に対するやる気は他学部の学生に負けないものです。学部・学科といった狭い枠にとらわれることなく、こうして授業をとることができるのがMPコースの最大の特徴です。

	mon	tue	wed	thu	fri
1	情報と職業倫理 (理学部)				
2	有機化学Ⅲ (理学部)	MP教養ゼミ(異文化) (MPコース)	量子化学Ⅰ (理学部)	成長・老化の人間学 (教養教育)	物質数理学 (環境理工学部)
3	有機化学演習 (理学部)	量子化学演習 (理学部)			
4	無機化学Ⅰ (理学部)	基礎化学実験 (理学部)	MP個別指導 (MPコース)	基礎化学実験 (理学部)	
5	化学数学Ⅰ (理学部)		英語(MPコース3) (MPコース)		物理化学Ⅰ (理学部)

キャンパスライフ

2年生 西川聡志 関西大倉高校卒業



私は自然が大好きで、環境問題に興味があり、将来は環境問題解決に携わる仕事に就きたいと思っています。しかし、一言で環境問題と言っても様々なことを学ぶ必要があると考え、このMPコースを選択しました。

ここでは多方面の授業に参加し、自分だけの時間割を作ることができます。また、私はアカデミック・アドバイザーの研究室に頻りに訪れ、週末にはフィールドでの生態調査を手伝うことで、大学の講義室では決して学ぶことの出来ない、“自然本来の姿”を見て、聴いて、触れて、五感を通して学んでいます。アカデミック・アドバイザーだけでなく、先生の研究室の人達とも交流することで、勉強以外にも、自然の中での体験談や環境問題に対する様々な意見を聞くことができます。特に研究員の留学生の方とプライベートでも仲良くしてもらっているのが、毎日が英会話の授業の様です。このようにして、時間割には含まれない、自分だけの特別授業を増やすことができました。

野外で生態系の仕組みや変化など座学では感じ取りにくいことを、そして授業で経済学や心理学などを学び、幅広い知識を身につける事で、環境問題を広い視野で見ることが出来るようになります。と思っています。

	mon	tue	wed	thu	集中
1	情報化と職業倫理 (理学部)	農業資源学 (農学部)	農業経営学 (農学部)	会社法Ⅰ (法学部)	農家体験実習 (農学部)
2	環境保全学 (農学部)	MP教養ゼミ(異文化) (MPコース)	地球と環境 (環境理工学部)		
3			農村整備学 (環境理工学部)		
4		人格心理学 (教育学部)		開発途上国経済Ⅰ (経済学部)	
5	心理学概説 (文学部)	種別英語(オラコン) (教養教育)	英語(MPコース3) (MPコース)	MP個別指導 (MPコース)	

3年生 妹尾拓人 岡山一宮高校卒業



MPコースと聞いて理学部や経済学部、薬学部のようになにを学んでいるかすぐに理解できる人は少ないでしょう。形式的に書けば学部横断学習が可能なコース、砕いて書いたら様々な学部の授業を受けることができるコースです。

私の時間割をみると、上に書いてあるような学部横断をしていません。これは、3年生になると自分の専門分野を決めて勉強しているからで、1・2年生のときは経済学か物理学かで迷っていてその二つの分野を横断してとっていました。そして、自分によりマッチしていると思える経済学を専門分野に選びました。

大学で二つ以上の分野を学びたくて迷っている人にMPコースは是非オススメです。通常ならば入学前に自分の専門分野を決めなければならないところを、MPコースなら入学後に興味がある分野を希望するだけ学べ、自分にマッチしていると思える方を専門分野に選べるからです。

また、すでに大学でこの分野を学ぶと決めているという人にもオススメです。なぜなら、同じ分野でもそれを扱う学部によって教えてくれる内容が違うため、学部を横断できるMPコースなら一つの方でも幅広い視野で学ぶことができるからです。

	mon	tue	wed	thu	fri
1				労働経済論Ⅰ (経済学部)	
2	公共経済学Ⅰ (経済学部)	地方財政論Ⅰ (経済学部)	種別英語(オラコン) (教養教育)		
3	財政学Ⅰ (経済学部)	東洋経済史 (経済学部)	MP英語1 (MPコース)		マーケティングⅠ (経済学部)
4		日本経済史 (経済学部)		開発途上国経済Ⅰ (経済学部)	
5	MP個別指導 (MPコース)		MP教養ゼミ(倫理・哲学) (MPコース)	日本企業論Ⅰ (経済学部)	ゼミ (経済学部)

2年生 竹内秀一

岡山芳泉高校卒業

私は将来、養護や福祉関係の職に就きたいと考えています。そこで栄養学や小児保健などの科目から専門的な知識の吸収に励んでいます。また、もともと生物の行動や進化にも興味があったので、それに関する科目も履修しています。

MPコースは私のように専門が二つある人でも対応できるカリキュラムをつくることができ、大変気に入っています。

	mon	tue	wed	thu	fri
1	情報化と職業倫理 (理学部)		運動栄養学 (教育学部)		
2		MP教養ゼミ(異文化) (MPコース)	行動生物学 (教育学部)	体育実技(バスケットボール) (教育学部)	教育学概説1 (教育学部)
3	公衆衛生学・衛生学 (教育学部)	体育実技(バレーボール) (教育学部)		教育の哲学と歴史3 (教育学部)	体育実技(テニス) (教育学部)
4			MP個別指導 (MPコース)	小児保健I (教育学部)	養護活動論I (教育学部)
5	生涯学習社会論 (教育学部)	種別英語(オラコン) (教養教育)	英語(MPコース3) (MPコース)	学習指導心理学1 (教育学部)	

2年生 池田隆平

東京都立科学技術高校卒業

私はMPコースで生物学、特に植物に関して学んでいます。今期は農学部の授業を中心に履修していますが、MPコースのメンバーや他学部の友人に履修している授業についての話を聞き、その授業を聴講しに行くこともよくあります。

学部を横断して授業を受けることができるだけでなく、さまざまな分野の人が一堂に会するMPコースという存在は、私に多くの興味や道を与えてくれる刺激的なコースです。

	mon	tue	wed	thu	fri
1		動物細胞科学 (農学部)		進化生物学 (理学部)	植物生理学 (農学部)
2	環境保全学 (農学部)	MP教養ゼミ(異文化) (MPコース)	森林生態学概論 (農学部)		植物遺伝学 (農学部)
3		基礎生物学実験 (農学部)			
4					心理学概説2 (文学部)
5			英語(MPコース3) (MPコース)	栄養生化学 (農学部)	MP個別指導 (MPコース)

3年生 牧羽衣

玉島高校卒業

私は大学受験の際、化学を学べる学部から一つを選ぶことがどうしてもできなかったため、学部に関係なく学びたい事を学べるMPコースに進学しました。

現在私は、理学部化学科の講義を中心に薬学部と農学部の講義も受講しています。その中で、一度やった事を勉強することもあります。同じ内容でも学部によって視点が変わるのでとても面白いです。私はこのコースで勉強することで、多角的なものの見方を学ぶことができました。

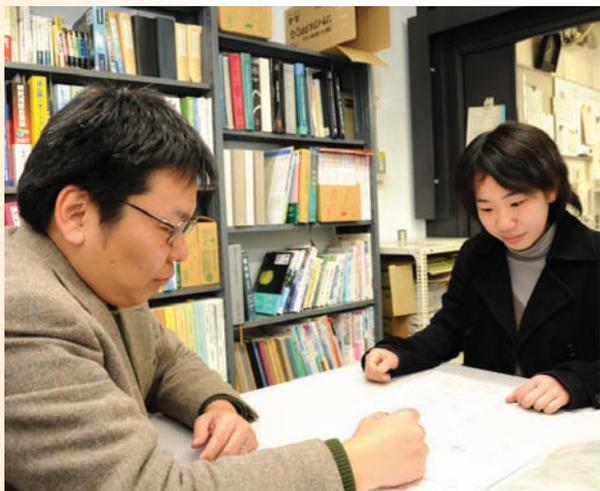
	mon	tue	wed	thu	fri
1		有機化学V (理学部)	開花調節学 (農学部)	生物薬剤学 (薬学部)	溶液化学 (理学部)
2		感染症治療学 (薬学部)	量子化学I (理学部)		
3	MP個別指導 (MPコース)		MP英語1 (MPコース)	錯体化学 (理学部)	
4	博物館学1 (文学部)	有機化学実験 (理学部)		有機化学実験 (理学部)	無機化学III (理学部)
5	生涯学習社会論 (教育学部)		MP教養ゼミ(倫理・哲学) (MPコース)		

アカデミック・アドバイザー制度

アカデミック・アドバイザー 阿保達彦

学部学科の枠にとらわれない、個々の学生独自の授業履修がMPコースの大きな特色ですが、膨大な数の授業科目から自分にあった授業科目を選ぶことは決して簡単ではありません。そんな時に頼りになるのがアカデミック・アドバイザー(AA)と呼ばれる教員です。MPコースでは、入学前に各学生の学びたいこと、将来の目標を調査し、それに基づき、その分野に適した教員がAAとして学生一人ひとりを担当し、授業履修に関する助言をします。高校までの担任の先生や進路指導の先生のようなものと思ってくれば良いと思います。MPコース学生は基本的に毎週一回AAと面談し、学業の進捗状況を報告したり、将来のことについて(どんな授業を履修するか、から、将来どんな職業に就きたいか、まで)話します。これはMP個別指導という必修授業科目になっています。高校までと違い、一般に大学の、特に1、2年生の間は、教員と直接話す機会はそれほど頻繁には

ありません。しかし、MPコースでは毎週AAと面談することで教員との距離が近づき、積極的に大学教員という「人的資源」を利用することが出来ます。MPコース学生の積極性は、既に各方面に知られるところですが、その一つの要因として、この教員との距離感の無さも挙げられます。MPコース学生は、AAの他に、学業以外の指導を担当する学年担任のサポートも受けて、自分だけのカリキュラムに基づいた充実した学生生活を送り、さらに4年次には卒業研究の指導を担当する指導教員の指導を受けて、4年間の学生生活を締めくくる卒業論文を作製します。



MP 個別指導の様子

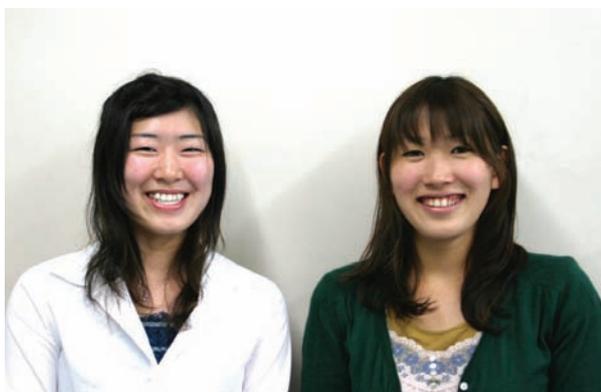
副専攻

3年生 佐藤緑・木下恵

私たちは1年生の頃にいろいろな学部を横断して、自分の専攻を決めてきました。その知識をさらに幅広い分野、多くの舞台で役立てるために副専攻コースを履修することができます。MPコースでは英語、フランス語、ドイツ語のコースを履修でき、所定の単位を修得することで副専攻コースの修了書を受け取ることができます。

例として、理学部化学科での課題研究履習を希望し、副専攻の英語コースを履修中の学生(木下)がいます。日常的な会話に限らず専門的な英語の能力を身につけて、将来的には国際的な場面においても意見を述べられるようになることを目標としています。

同様に理学部数学科での課題研究履習を希望し、副専攻の英語コースを履修している学生(佐藤)がいます。専門分野で将来に必要な専門的用語を学ぶとともに、副専攻コースで“会話をするときのよい間隔”などの会話スキルの習得に励んでいます。また、英文での正しい表現方法などもバランスよく学び、それを身につけ、発揮できることに楽しさを感じています。



語学研修 in Adelaide



MPコースでは一定以上のTOEICの点数を取ると、毎年春にある岡山大学の春季語学研修に補助金を出していただいで参加することが可能です。私も今年3月にアデレード大学で英語の勉強をしてきました。5週間ホームステイという形で、学校に通い、他の留学生たちと混じった形の授業を受けてきました。この5週間の経験は私にとって、とても刺激的で、よい経験となりました。

授業は初日にクラス分けをされ、別々に進めていくのですが、宿題がそれぞれに出されて少々大変でした。しかし、先生方はとても親切で、丁寧に教えてくださったので、他の仲間たちとともに楽しく授業を受けることができました。私のクラスはほとんどが日本人で、他にタイとサウジアラビアの方がいらっしゃいました。

周りの人たちの英語力に刺激されて、積極的に英語を学ぼうという気になり、とてもよい環境で学習できたと思います。

また、アデレードは、コンパクトな町なので、週末などに、公共交通機関を利用して、さまざまな場所に遊びに行くことが可能です。私も週末はホストファミリーと街を回ったりショッピングに行ったりしていました。オーストラリアの文化に触れ、日本では経験できないことがたくさんありとても充実した5週間でした。

MPコース 2年生 岡崎 麻里菜



入試概要

■ 募集人数 16名

■ 出願資格 次の各号にいずれにも該当する者

1 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を平成18年3月以降に卒業した者及び平成22年3月までに卒業見込みの者又はそれと同等の学力があると認められる者
- ② 高等専門学校の第3学年を平成18年3月以降に修了し又は平成22年3月までに修了見込みの者

2 岡山大学マッチングプログラムコースでの勉学を強く希望し、最終の選抜に合格した場合必ず入学することを確約できる者

■ 選抜方法

第1次選抜

○出願書類（調査書・自己推薦書）による書類選考

○第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の3倍程度

○志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍）を超えた場合には、第1次（書類選考）選抜を行い、その合格者についてのみ第2次選抜を行う。

調査書の評点は数学・英語・国語を重視する。自己推薦書の内容は自己アピールおよび活動記録である。生徒会活動やスポーツ活動などの活動実績も評価する。なお、第1次選抜の結果は第2次選抜には反映されない。

第2次選抜(10月24日、25日)

第1日

講義に関するレポート 400点

講義を受講し、与えられた課題（問題）に対してレポートを作成する。講義時間とレポート作成時間を合わせて120分。これを2回行う。

第2日

1) 小論文 300点

数学・物理・化学・生物・地学・保健体育の6題から1題を選択し、小論文およびポスターを180分で作成する。

2) 発表及びグループ討論 200点

選択した問題に応じて6人程度のグループに分かれ、発表（6分）及び討論（40分）を行う。

3) 個人面接 100点

各個人に対し20～25分の面接を行う。

詳しくは、募集要項を参照してください。

また、出題例についてはMPコースのホームページを参照してください。



MPコース説明会情報

MPコース独自の説明会を開催します。

先生や学生の生の声を聞くチャンスです！

ホームページで日程を確認してお越しください。



MPコースは今年で設立4年目を迎え、来春には初めて卒業生が出ることになります。現在の4年生にあたる1期生は、就職希望者5名全員が企業からの内定を得ることができました。

4年生 名井唯

内定先：協和発酵キリン株式会社

就職活動とは、企業と自分をマッチングさせていく作業だと感じました。自分のことを知り、企業のことを知り、お互いがしっかりと理解し合えたからこそ内定が頂けたのだと思っています。MPコースでの学生生活はまさにそれと同じ作業を行います。自分が何を勉強したいのか、しっかり考えることが出来ます。いろいろな学部を知るために研究室を訪問し、先生に話を聞きに行く事は企業を知る作業と同じです。そして、授業でのプレゼンテーションや討論では相手に分かりやすく説明する方法を学びました。

このように自分を見つめ、相手を知り、そして自分の意見を表現する訓練を毎日の生活の中で出来ていたのも、目指していた企業に内定を頂くことが出来たと思っています。MPコースでは自ら行動しなければ何も始まりません。それは簡単なことではありませんが、社会に出ても通用する力を手に入れることが出来たと私は思っています。

4年生 清水 さゆり

内定先：株式会社ヒラタ

就職試験ではどの会社でも「MPコースって何？」と聞かれました。1年次から今まで100人以上の教授や学生に説明してきたので、まさに百戦錬磨の回答…「オールマイティな学部です！私はこんなことを学んでいます！」と元気いっぱいに答えていました。そして面接官の人は「え！おもしろいね！！」という反応をしてくれます。

私は3年次に幾度となくゼミや授業で討論をしたことが大いに役立ちました。就職試験のグループディスカッションや集団面接がおもしろくておもしろくて…これこそ就活の楽しみの一つなのでは、と思ったほどです。

他学部の授業を履修したいとき、研究室に入りたいときなど、MPコースの学生は自分をアピールする機会がふんだんにあります。

MPコースは、苦労した分だけ確実に自主性が身につく学部です。ちなみに私は3年生になって初めて「MPコースでよかった」と思えるようになりました。今研究室配属や履修で悩んでいる人もいると思いますが、その悩みは何年後かの大ジャンプにつながるので頑張らしましょう。

4年生 二木 佑実子

内定先：株式会社三井住友銀行

私は長所の課題解決能力を生かせる、法人営業職を軸に、メーカーや通信・システム、銀行と幅広い業界で就職活動をしていました。受けていた業界は様々ですが、どの業界でも、顧客の要望を引き出す「コミュニケーション能力」と、要望の実現に向けて「自ら考え行動する力」が重視されていると感じました。

私はMPコースの中で、この二つの“武器”を身につけることが出来たからこそ、法人営業職のある企業に内定を頂けたと思っています。例えば、聴く・伝えるという「コミュニケーション能力」は、MP教養ゼミの中で自然と学びましたし、「自ら考え行動する力」は目標実現のためにオリジナルの時間割を作り、積極的に学んでいく中で養うことが出来ました。

就職活動は縁が大切とよく言われますが、何十万人というスーツ姿の学生の中から、その“良縁”をたぐりよせる“武器”を与えてくれたMPコースに、改めて感謝しています。

Made by Matching Program Course Students

このパンフレットは企画・デザインなど、ほとんどをMPコースの学生が行いました。

「MPコースのことをもっとよく知ってもらいたい」そんな思いで、パンフレットは毎年学生が主体となり制作しています。学生が主役のMPコースだからこそ、私たちはたくさんの人に受験してもらいたいと思っています。

制作担当責任者 2年生 藤岡 孝浩

MP マatchingプログラム コース

岡山大学マッピングプログラムコース

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
TEL:086-251-7763 FAX:086-251-7777
<http://www.mpc.okayama-u.ac.jp/>

MPコース |

検索

